2023年 第14回
高校生の

「建築甲子園」

地域のくらし ―まちに住む・地域に開く住まい

主催 公益社団法人 日本建築士会連合会、都道府県建築士会
後援 公益社団法人 全国工業高等学校長協会、国土交通省
協賛企業 ステッドラー日本 株式会社、株式会社 総合資格<総合資格学院>

●審査委員長
堀　啓二
（共立女子大学建築・デザイン学部建築・デザイン学科教授）

●審査委員
竹江文章
（教育・事業本委員会委員長）
伊東龍一
（まちづくり委員会委員長）
山本道善
（青年委員会委員長）
本間恵美
（女性委員会委員長）

審査総評

2023建築甲子園参加の生徒の皆様、初めまして。本年度からこのコンペの審査委員長を務めることになりました共立女子大学の堀です。私は共立女子大学で後進の指導にあたりながら設計活動を40年余り続けています。一貫して設計してきた建築のテーマは「まちに馴染む居心地の良い場の創出」です。

まちは環境と読み替えても良いかもしれません。建築は必ずある環境の中に建ちます。一度建つと少なくとも100年は存在しまちの環境をつくります。なので、まちの環境を読み解き街並みを継承し活性化していく役目を果たす必要があります。まちに馴染む建築が必要です。そのためにはひとりひとりが「まち」をつくっていく一員であるということを自覚する必要があります。

環境の時代建築は使い続けなければいけません。建築は人がそこで生活・活動して初めて生きた空間になります。そのためには使いやすく居心地の良い場が必要です。ライフスタイルの変化やライフステージの変遷、そして現在の先行きが不透明な現在に対応できなければなりません。使い続けるためのさまざまな変化に対応できるフレキシブルな建築を考えなければなりません。

建築の設計とは解答のない作業の中から一つの解答を見つけることです。建築には人が関わります。人が関わるということは十人十色というように十人いれば10通りのそれぞれの考え方使い方、暮らし方感じ方があり10通りの案があるはずです。しかし建築は一つしかつくれません。様々な解答の中から自分の経験をもとに一つの解答を導く必要があります。そのためには様々な調査、分析と考え続けることが必要です。

今回提出された作品には空間はあるもののリアリティが感じられない作品が多く見られました。自分たちが考えた空間にリアリティを持たせるには、これらを基本にどのような生活や活動が行われるかを想像することが重要です。ぜひこれらのことを考え続け設計をしてください。

また、設計はやり続けるモチベーションが必要です。最後に次の言葉を送ります。

「才能というのはね、能力のことじゃないんだ。どうしてもやめられない性格のことなんだ。」

日本語学者・金田一秀穂さんは、研究者の道に進もうかと迷っている大学４年生の時、卒業論文の指導教授である小木貞孝教授に「研究者に向いているでしょうか。才能あるでしょうか」と尋ねました。小木教授は「わからない……」と言ってから、そもそも、そういう問題ではないのだと、この言葉で説明された。好きだからそれに熱中して取り組む。気づいたら、何かになっている。何かを成し遂げている。そういったことなのかもしれません。

ぜひ建築を好きになってやり続けてください。

（建築甲子園審査委員長　堀　啓二）

公益社団法人　日本建築士会連合会

2023年 第14回 高校生の「建築甲子園」審査結果

優勝

石川工業高等専門学校

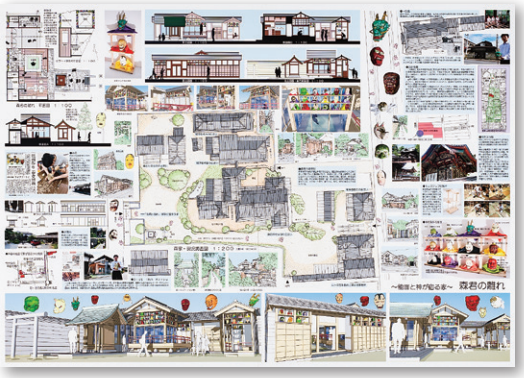
PROJECTION

映像作品を様々なサイズで投影できる集合住宅

準優勝

群馬県立桐生工業高等学校

～能面と神が宿る家～ 森君の離れ



BEST11・教育・事業本委員長特別賞

高校名	応募作品タイトル
三重県立伊勢工業高等学校	荷物にならない伊勢土産

BEST11・まちづくり委員長特別賞

高校名	応募作品タイトル
明石工業高等専門学校	逆参勤交代 ～室津、研修施設兼移住体験住宅での暮らし～

BEST11・青年委員長特別賞

高校名	応募作品タイトル
静岡県立浜松工業高等学校	生業を学び 紡ぐ

BEST11・審査委員長特別賞

高校名	応募作品タイトル
福島県立郡山北工業高等学校	Show 店劇場

BEST11・女性委員長特別賞

高校名	応募作品タイトル
山形県立新庄神室産業高等学校	まちなか農家 農業でつながる地域コミュニティ

BEST11・入　賞

高校名	応募作品タイトル
鳥取県立米子工業高等学校	～地域をつなぐ子どもの町～ 岩倉こども園
香川県立高松工芸高等学校	風が流れる庵治石ロード
都城工業高等専門学校	美住館
鹿児島県立鹿児島工業高等学校	地域社会を乗せる「地域の船」

奨励賞

高校名	応募作品タイトル
青森県立八戸工業高等学校	伸歯保車 ～坂の上の繋がり～
岩手県立盛岡工業高等学校	フィールド・オブ・ドリームス・岩手 "If you save it, People will come. If you build it, People will come."
宮城県白石工業高等学校	Second Style ～地域に開く住まいの提案～
秋田県立大曲工業高等学校	反射して見えない
千葉県立東総工業高等学校	灯台 もと 暮らし
東京工業大学附属科学技術高等学校	Diversity×Sharing ～コトノハで紡ぐ地域の輪～
神奈川県立横須賀工業高等学校	「おかえり」がきこえる+ワンのくらし ～京急長沢駅前のペット同居可能なシェアハウス～
山梨県立甲府工業高等学校	次世代に繋ぐ共同住宅
長野県長野工業高等学校	いいづなdeつながる林檎カフェ ～あつまれ！林檎の森～
愛知県立愛知総合工科高等学校	"自然"と学ぶ星ヶ丘のパン工房
岐阜工業高等専門学校	KASAHARA CONNECT ROAD モザイクタイルミュージアムとタイル職人をつなぐ道の家
富山県立高岡工芸高等学校	三種の糸が紡ぐ住まい

高校名	応募作品タイトル
福井県立武生商工高等学校	憩いの場 －人と人をつなぐ場所－
国立舞鶴工業高等専門学校	アキナイコミチ
奈良県立奈良商工高等学校	現代の町屋 ～今昔めぐり～
和歌山県立和歌山工業高等学校	いつもの湯
岡山県立岡山工業高等学校	商店街のセカンドステージ
広島県立福山工業高等学校	伝統的な街並みのある地域のくらし 鞆の浦
徳山工業高等専門学校	きつねのよりみち
阿南工業高等専門学校	Archi Night あきない
愛媛県立東予高等学校	小松陣屋にある裸麦酒工房 ～人との縁ができる場所～
高知県立高知工業高等学校	海に浮かぶ町
佐賀県立嬉野高校 塩田校舎	ミナトノミライ ～古き風景をつなぐ建築 塩田津再開発～
長崎県立島原工業高等学校	Familie つなぐ人と人
熊本県立球磨工業高等学校	(本を三つ並べた造語)灯の木
大分県立日田林工高等学校	地域をつなぐ家 ･･･涼める川端･･･

※高校生の建築甲子園は、公益社団法人全国工業高等学校長協会のジュニアマイスター制度の認定プログラムです。

出場校の全作品と審査評は(公社)日本建築士会連合会のホームページでご覧いただけます。

http://www.kenchikushikai.or.jp